| 研究管理番号 | 2026-009 |
|---|---|
| 実施診療科 | 外科 |
| 作成日　版数 | 2026年07月16日　第1.2版 |

# 研　究　の　ご　案　内

この研究は掲示のみで、患者さん個々からの同意を頂かなくても良いとされております
研究への利用を希望されない方は、下記お問い合わせ窓口までご連絡下さい

## 「待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術における臨床工学技士スコープオペレーター導入の安全性および有用性の検討」

### ① 目的

本研究の目的は、待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術において、臨床工学技士（Clinical Engineer：CE）によるスコープオペレーター導入前後の周術期成績を比較し、安全性および有用性を評価することです。また、導入後のCEによるスコープ操作について術者評価を行い、スコープオペレーターとしての操作品質を検討することを目的としています。

### ② 研究の対象となる方

本研究の対象は、2024年1月1日から2028年1月1日までに群馬県済生会前橋病院で施行された待機的腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられた患者さんです。

### ③ 研究実施期間

本研究は研究許可日から2028年3月31日までを研究期間としております。

### ④ 利用・提供する情報

本研究では、群馬県済生会前橋病院の電子カルテ上の診療情報および画像データを利用します。
また、2026年6月以降の症例については、術直後に執刀医が記入したスコープオペレーター評価票を利用します。

| 研究管理番号 | 2026-009 |
|---|---|
| 実施診療科 | 外科 |
| 作成日　版数 | 2026年07月16日　第1.2版 |

本研究に使用する診療情報、画像データおよび評価票は、連結可能匿名化により管理します。研究責任者が研究対象者ごとに研究番号を付与し、研究対象者と研究番号を結び付ける対応表は、外部に漏えいしないよう厳重に保管します。

## ⑤ 個人情報の管理

個人情報漏えいを防ぐため、群馬県済生会前橋病院において、個人を特定できる情報を削除し、データの匿名化および適切な情報管理を行います。また、本研究の実施過程およびその成果を学会や学術論文等で公表する際には、研究対象者および医療従事者を特定できる情報は一切公表しません。

## ⑥ 利益相反に関する事項

この研究において利益相反はありません

お問い合わせ窓口

臨床研究責任者：　八木直樹　（群馬県済生会前橋病院・外科）
所在地：〒371-0821 群馬県前橋市上新田町564-1
ＴＥＬ：027-252-6011（代表）